



長谷田 公子
070-5564-6271
八幡町 44

議会報告

2023年
9月定例会



北島 元雄
090-4065-2120
波志江町 3626

発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 Tel.25-4854/fax24-8204
ホームページ www.icp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@icp-isesaki.net

ため込んだ165億円の基金積立金 —物価高騰から暮らしと営業を守る財源に—



定例会が8月31日から9月28日まで開催され、北島議員が昨年度一般会計決算質疑。長谷田議員が一般質問など行いました。議会の様子を紹介します。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、円高・ウクライナ侵攻による物価の高騰が市民生活を大きく脅かしました。経済は回復基調と市税は過去最高の金額に。しかし物価は光熱費が9・6%、食費は8・8%と大幅に上昇しました。賃上げは物価の高騰に遠く及ばず、年金に至っては、昨年度引き下げという状況で市民生活はコロナとの2重の苦しみでした。

そんな中でも市の貯金である財政調整基金は69億円から80億円に10億5千万円も増えました。臂市長就任時直後の20年3月末55億円であったものが2年で25億円も増えたのですから驚きです。19種類の一般会計基金総額は、3年前99億円だったものが165億円にもなっています。埋蔵金とも言えるようです。これはコロナ・物価高騰対策は国の交付金頼みで、市民のためにやるべきことをやらずにため込んだものです。

特別会計もバブル

特別会計も3つの基金の合計が昨年に比べ4億3千万円増、5年前と比較して30億円近くも増えています。こんな

に余分に集めては国保税も介護保険料も高いのは当たり前です。お金があることは悪いことではありません。要望をどんどん届け、ため込んだ基金を無駄遣いせず、暮らしのために使わせましょう。

	一般会計基金総額	うち財政調整基金
22年度末	165億 4167万円	79億 8845万円
21年度末	151億 1196万円	69億 3687万円
20年度末	99億 6287万円	55億 3662万円
3年間の増加	65億 7880万円	24億 5183万円

特別会計基金	オートレース	国民健康保険	介護保険
22年度末	15億 3694万円	12億 7876万円	17億 2480万円
21年度末	13億 7441万円	10億 0784万円	17億 2791万円
17年度末	6億 5025万円	1億 2652万円	7億 7703万円